

# 議会ミニ知識・常任委員会

議会が始まると、議案は所管ごとに分けられ、常任委員会で審査されます。

それぞれの所管部の議案は、基本的に常任委員会で審査します。

## 予算決算委員会

ただ、予算に関するものは、1本の議案にま

委員会名	定数	所管事項
総務文教	10人	企画管理部、財務部、出納課、議会議務局、教育委員会、選挙管理委員会、監査委員などの所管に関する事項、他の常任委員会の所管に属しない事項
厚生	10人	福祉保健部、こども家庭部、市民生活部、病院事業局の所管に関する事項
経済環境	9人	環境部、商工労働部、農林水産部、農業委員会の所管に関する事項
建設	9人	活力都市創造部、建設部、上下水道局、消防局の所管に関する事項
予算決算	38人	予算、決算に関する事項

められているため、全議員が参加する予算決算委員会です。

一昨年末までは予算も各常任委員会で審査していましたが、予算案という一つの議案を、各常任委員会で分割審査していたわけ

です。これは、議案不可分の原則（一つの議案を分割して審査してはならない）に抵触する課題を含んでいました。

それを解決するために、予算決算委員会という委員会を新たに設置し、そこで審査するのですが、実は、この予算決算委員会には分科会があり、なんと私は、経済環境委員長でありながら、経済環境分科会の会長でもあるのです。

## 結局いっしょ

何を言いたいかというと、議案不可分の原則を守るために予算決算委員会で予算案を全議員で審

査すると言いつつながら、結局は今までと同じで、私は環境部、商工労働部、農林水産部、農業委員会の予算しか具体的な審査はできないし、各委員会所属の委員は、それぞれ所属の委員会の予算しか審査できないのです。

厳密に言えば、審査はしていないというのかもしれないし、分科会は採決を行いません。しかし、やっていることはほぼ同じなのです。

私たちは、この制度の移行の流れを知っているので、理屈は分かりませんが、これから議員となる人には、何やら変わった儀式をやっているように

## コロナ太りに要注意

6月定例議会が始まりましたので、6月ですが、今年度は頭の中のカレンダーが停止したままの令和2年度です。各入学式や入社式等の出会いと別れの儀式も手法を大きく変えての開催です。夏休み等も変更になるようです。

しか見えないのではないかと思います。

## 経済環境委員会

さて、本定例会の経済環境委員会、経済環境分科会では、農林水産部所管分では、四方漁港東防波堤機能保全工事であったり、土地改良区が実施する施設整備の補助、岩瀬、富山駅、グラウンドプ

ラザなどで農水産物の販売に繋がるイベント事業などの審査。商工労働部所管分では、八尾中核企業団地造成事業費の繰り上げ償還、コロナ対策として国が行う、go to キャンペーンに

し、部活動では季節ごとの大会も中止など、多感な子どもたちへの影響が心配です。市議会議員にとつては、各種総会にお招きいただくシーズンですが、今年度は例外なく、開催がありません。そんな出控える世相を反映し、コロナ太りが蔓延しているようです。

コロナ禍を利用し一儲けするのではなく、単純に太ってしまうことで、実際、そんな人は増えているそうなんです。かくいう私は、もともと太っているのですが、これ以上太るわけにはいきません。特に市議になってからは、体重が増加し続けていました。そこで、空いた時間を利用して、ダイエツ

# 令和2年6月定例会 議会傍聴ダイジェスト

## 令和2年6月16日午後(16時から16時半の間に開始)

### 江西照康 持ち時間30分 一問一答方式

#### ケーブルテレビ生放送&インターネット生+録画

### 12番江西照康



市議会党派自民党  
副政調会長  
経済環境委員長  
議会改革検討調査会座長  
議会運営委員会委員  
政務活動費のあり方検討委員会委員  
都市計画審議会委員

6月定例議会は、期間を大幅短縮し、6月11日より開催。一般質問も全体で半分の時間に縮小しての開催です。

ようやく落ち着きをみせてきたコロナ禍ですが、大きなインパクトを富山市にも与えてきました。そんな中迎える6月定例会ですが、コロナ対策として一般質問は通常の半分の日程の2日間で完了させるため、質問者と質問時間に制限がかかります。

各質問者のテーマの中心はやはりコロナ対策に集中するものと思います。私も今回は、コロナ関連の質問に絞って行いますが、私の順番は7番目の為、私の聞く内容は既に質問されているかも

## 市長の意向の確認

傍聴ダイジェストのご案内しておきながら、割愛することになりますが、ご容赦下さい。

しかし、今回の私の質問は市長に直接問いかける内容が多く、同じ主旨の質問があっても、市長の考えが確認できていなければ構わず質問する所存です。こういった非常時には、市長の政策が平時に比べ、市民の生活に強い影響を与えます。そしてどんな手法をとっても結果はマイナスへの着地ですから、ハンド

月日	曜日	日程
6月11日	木曜日	本会議(提案理由説明ほか)
6月12日	金曜日	議案調査日
6月13日	土曜日	休会
6月14日	日曜日	休会
6月15日	月曜日	議案調査日
6月16日	火曜日	本会議(一般質問)
6月17日	水曜日	本会議(一般質問ほか) 予算決算委員会(前期全体会)
6月18日	木曜日	議案調査日
6月19日	金曜日	予算決算委員会分科会 専門別常任委員会
6月20日	土曜日	休会
6月21日	日曜日	休会
6月22日	月曜日	予算決算委員会(後期全体会)
6月23日	火曜日	議案調査日
6月24日	水曜日	本会議(委員長報告・質疑・討論・採決ほか)

だと思えます。よって市長の目から見て、表面だけしか捉えていないと見える議員の質問や意見は、とても耳障りな雑音に聞こえることでしょう。短い時間ですが、裏付けと、十分に理に合った

## 議場での傍聴はお控え下さい

3密を避け、ケーブルテレビやインターネットで是非

定例議会では、私の一般質問に際し、議場での傍聴をお願いしておりませんが、今回は3密を避けるため、ご来場はお控

内容にして、私の考える市民目線の対コロナ禍政策の実現を目指したいと思えます。



え下さい。今までの一般質問では、多くの傍聴者の方にご来場いただき、心より感謝申し上げます。

本傍聴ダイジェストは、パブリックビューイングとして、私の後援会事務所にお越しいただいた方や、議場に傍聴に来られた方、ケーブルテレビやインターネットで私の質問をご覧いただく際の資料として、29年12月議会より作成しているものです。私が質問の際に、どういう考えで質問をしているのか、何を指しているのか、本資料を参考にご覧いただけますと幸いです。議会質問は、ケーブルテレビとインターネットで生中継されます。数日後録画もアップされます。バーコードをスマホで読み取っていただくご覧いただけます。尚、本紙作成および配布に当たり、第1号より、政務活動費は一切使用していません。



## 江西照康

トと自給自足の一石二鳥を狙い家庭菜園を始めた。以上私の近況です。ご無沙汰したまま、皆様から忘れられてしまわないよう、6月議会も存在感を發揮してがんばります。



午後、公明の堀江議員以降は時間が短いので、予定通りに進むのではないかと思います。休憩で若干時間がずれの可能性もありますから、是非、16時頃からは、ケーブルテレビやインターネットでご覧下さい。

# 医療関係者までが感染したコロナ

新型コロナウイルスの怖さは、その症状と見合う治療法や予防法が確立していないことであり、その感染力の強さである。幸い、現時点では落ちついてきたものの、富山市民病院ではクラスター（感染者集団）が発生す

る事態となった。富山医療圏の中核を担う市民病院が、外来診療や救急患者の受け入れの休止に追い込まれたのである。多くの患者と接する医師や看護師は自身が、感染のリスクにさらされ、実際に一部感染した。

医療の崩壊は、そのまま富山市の社会の崩壊であり、ギリギリのところまで関係者がまさに身を挺して、いざその禍に巻き込まれる。振り返ると、新型コロナウイルスの襲来は、概ね想定されていた。しかし、いざその禍に巻き込ま

## 医療従事者に感謝

3月30日に富山県内でも始まったコロナ禍は、瞬く間に広まり、対応する富山市民病院は、院内感染が発生し崩壊寸前の状況に追い込まれた。医療従事者の200人以上が自宅待機となり、残って対応する医療従事者は、過酷な勤務に加え、自宅にも帰れず、食事にもこと欠く状況に一時は追い込まれたという。そんな状況を知った、市内のある事業者の集団は、不足する物資を無償で提供し続けるなどして、物心両面で支え続けた。これらの活動は匿名で行われている。



また、北陸電力送配電と送配電工を行う約130社でつくる「Eリーグ北陸」のメンバーは治療に当たる医療従事者に感謝し、病院の近くにある鉄塔を、LEDライトなどでブルーに照らした。一方、市役所内においても、金曜日に庁舎でエールを送っている。勿論感謝を示す活動で素晴らしいが、行政は当事者であり、それをチェックする議会がすべきことは、富山市民病院の医療従事者をはじめ影響を受けている市民に対し、実際に報いる政策を実現することではないだろうか。

# コロナ禍対策の取り組みについて

## 医療体制の確立と経済対策

### 市内2万4百の事業所と21万8千人の従業者

#### 事業所数は「卸売業 小売業」「宿泊業、飲食サービス業」の順

富山市内には、2万4千事業所のうち、2千3百超の、宿泊業、飲食サービス業を営む事業者がいる。業種としては、市内の産業で事業所数が2番目に多い業種である。従事者は1万8千人を超え、その75%が非正規の従事者である。

今回のコロナ禍で、この業種は壊滅的な打撃を受けており、この後の展望も厳しい。国の支援政策は、該当するメニューに当てはまらないものが多く、あまり使い物にならない。当然予算にも限りはある。

現在までの対コロナ政策は、これらの業種の利用を避けることであり、コロナ沈静化は、この宿泊、飲食サービス業の身を切る協力により成り立っている。

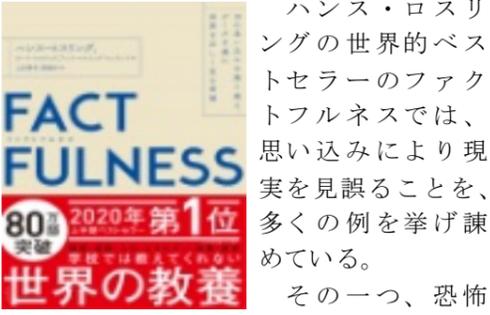
おそらくどんな政策を打つても、落ち込みを取り戻すには程遠いかもしれないが、何らかの政策が必要である。私が思い浮かぶのは、

コロナ禍により多くの行事がキャンセル、取り消しされた。また、必要物資の不足に陥った。第2波、第3波が来る可能性は高いようである。落ち着いている今こそ、それに備えるべきであり、建物の設備にも手を加えるべきである。

富山市の当初予算においても、オリンピックの聖火リレー、ちんどんコンクール、富山祭り、おわら風の盆等々を支援する予算を伴う政策が中止になっている。他にも同様の予算施策は多数ある。また、今年度目玉のネクストステージ予算にも、大きな予算を伴う不要不急なものがある。



## ファクトフルネス



ハンス・ロスリングの世界的ベストセラーのファクトフルネスでは、思い込みにより現実を見誤ることを、多くの例を挙げ諷めている。その一つ、恐怖本能による思い込み。東日本大震災による福島原発の原子力事故。この原発事故による被ばくで亡くなった人は一人も見つかっていないが、避難によるストレス等で1,600人が亡くなっている。人々の命が奪われた原因は被ばくではなく、被ばくを恐れての避難だったということである。コロナ禍の対処も要注意！

## 富山市民病院医療事故調査委員会

令和2年3月議会において、富山市民病院医療事故調査委員会の設置が議決されている。一般的には、患者に対する医療事故を調査するものだと考えられる。確認はしてみるが、恐らくは今回の、新型コロナウイルスによる医師や看護師、理学療法士への院内感染などは、その対象外であろう。



感染にはいろんなルートが考えられるから、どんな対策をとっても感染するリスクはある。しかし、感染病棟で感染対策済みである業務において、感染してしまうことまでもが、事故でないとしたら、割り切れないのではないだろうか。いずれにしても、今回のような感染症が発生した場合、市民病院がその先端の現場になることが周知のこととなった。ソフト、ハードとも働く環境の改善が必要であると考え。